

## 樹形図の使用項目数を変更した場合の決定係数の比較

## 【モデル作成条件】

- ・樹形図作成項目の元：現在の要介護認定項目（1群～7群）+3項目（10群）+追加項目6項目（モデル一次調査）
- ・樹形図は9本作成；大分類0（対象者に直接関わらない業務）の推計値を除く
- ・最終分岐の最小人数を40人に設定（現在の一次判定と同様）
- ・中間評価項目は使用しない

0項目削除	24項目削除
削除なし	1 拘縮（肘関節） 2 拘縮（足関節） 3 じょくそう 4 皮膚疾患 5 飲水 6 つめ切り 7 生年月日をいう 8 自分の名前をいう 9 場所の理解 10 被害的 11 作話 12 幻視幻聴 13 暴言暴行 14 大声をだす 15 常時の徘徊 16 落ち着きなし 17 外出して戻れない 18 一人で出たがる 19 収集癖 20 火の不始末 21 物や衣類を壊す 22 不潔行為 23 異食行動 24 環境等の変化
決定係数=0.478	決定係数=0.479

※0項目削除の場合も、樹形図に出現しない項目は存在する